

機関名: (地独)北海道立総合研究機構水産研究本部

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	・シロザケとカラフトマスの交雑個体(両種の特徴をもち、尾鰭に小黑点)が日本海(余市)において複数個体が漁獲される。 ・カジキやアオリイカ、マダイ、カツオなどの南方種が例年よりも多く漁獲される。	特になし	特になし	特になし

機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 秋田県水産振興センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	・サバ類の合計漁獲量が144.9トン、平年比(2010～2019同期平均値)で806%と好調であり、漁業種類別では定置網が98%(141.8トン、平年比910%)、延縄が2%(2.4トン、平年比146%)等であった。 ・平成28年(15.5トン)から減少が続いていた県南部(にかほ市)沿岸のアワビ漁獲量が1.9トンとなり、昭和60年以降では最低となった。北部日本海に共通した現象ではないかと考えており、情報収集に努めているところである。	・男鹿半島南岸の大型定置網で大型クラゲの入網が8月20日に初めて確認され、調査を開始した2006年以降で最も早い来遊記録となった。	特になし	特になし

機関名: 山形県水産研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	7～9月の小型いか釣り漁業によるスルメイカの漁獲量は443トンで、前年の213トン、過去10年平均の203トンを大きく上回った。また、底びき網漁業は、9月の解禁後に小型のホッケの大量入網により、当該水深帯の操業を控えるケースが相次いだ。	9月の地先の表面水温は観測を開始した1970年以降、2012年に次いで2番目に高い値となった。	特になし	特になし

機関名: 新潟県水産海洋研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 石川県水産総合センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	・2020年7～9月の小型イカ釣りによるスルメイカ漁獲量は1,516トンで、過去5年平均の231トンを大きく上回った。さらに、7月にまき網でスルメイカが大量に漁獲(1,061トン)された。	水産海洋・漁場保全関係 ・8月上旬以降、大型クラゲが出現し、2010年以降で最多となっている。但し、大量出現には至っておらず、大きな漁業被害はみられない。	特になし	特になし

機関名: 福井県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	・底びき網による9月のアカガレイ漁獲量は25tと、平年(2010年～2019年の9月の平均)の82tを大きく下回った(平年比30%)。	特になし	特になし	特になし

機関名: 京都府農林水産技術センター海洋センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	特になし	・9月の水温は平年(81～10)に比べ非常に高く、St.1～4(6点)の水深0～50mの平均値では、9月1日換算値で27.5℃(平年値+3.4℃)であった。 ・9月に底曳網で大型クラゲのややまとまった入網があった(最多で1曳網あたり100個体見当)。	特になし	特になし

機関名: 兵庫県農林水産技術センター但馬水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	・6月に好調であった沿岸いか釣りのスルメイカの漁獲が続き、7月、8月の漁獲量は57トン、29トンで直近10カ年平均のそれぞれ356%、543%であり、2010年以降で最も多かった。 ・ソデイカは、来遊時期である8月にはほとんど漁獲がなく、9月の漁獲量も2.7トンと直近5カ年平均(程度の不漁年であった2015年をのぞく2014～2019年)の9.2%と低迷。	・200m深の水温分布から推定される暖水域が2019年4月に隠岐諸島北北東に出現し、隠岐諸島東方から能登半島西方暖水域にかけて分布。2019年5月上旬以降2020年9月末までの定線観測においても、北緯36° 20.2'以北の複数の定点で10℃以上13℃未満の水温を観測。	特になし	特になし

機関名: 鳥取県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県栽培漁業センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	・夏のハマチ刺網が低調。ヒラマサ、カンパチは例年に比べ漁獲がかなり多い状況。 ・フドウイカ(ケンサキイカ季節型)が不調(ほぼ見られていない状態)。	・9月の水温が例年に比べかなり高め(特に50m深)	特になし	特になし

機関名: 島根県水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	特になし	特になし		

機関名: 山口県水産研究センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
2020年 7月～9月	特になし	特になし	・2年連続シロアマダイの種苗生産成功。瀬戸内海産シロアマダイの親魚を用いて、(公社)山口県栽培漁業公社と共同で種苗生産に取り組み、40mm種苗、約4万尾の生産に成功した。(7月)	特になし